

表示について（表示の意味は次のようになっています）

注意 この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

注意 工事される方へのお願い

- 機器を正しく安全にご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになってから指定された工事を行ってください。工事の際は電気設備に関する技術基準などの関連法規を遵守してください。
- 床暖房機能付リモコンで床暖房機能を設定される場合は、必ず床暖房の床構造・床暖房方式（床暖房パネルなど）・床仕上げ材を確認し「床暖房設定変更説明書」に沿って適切に設定を行ってください。
- 本品を指定する機器に使用してください。
- 追っぴき配管について（MC-910-BNを取り付けた場合）追っぴき戻口は閉止して、追っぴき戻口からオーバーフロー配管として排水処理をしてください。両側閉止は絶対に行わないでください。

部品の確認

- 梱包内には下記の部品が入っています。取り付け前にご確認ください。
- 浴室リモコン・ドアセンサーが同梱されている場合があります。取り付けに関しては、それぞれの工事説明書をお読みください。

名称	形状	個数	名称	形状	個数
リモコン		1	長ねじ	(M4×65)	2
			タッピンねじ	(4×25)	2
			Y型端子		4
			工事説明書	(本紙)	1
固定金具		1	メンテチラシ		1*
			床暖房設定変更説明書		1*
			かんたん接続ガイド		1*

*リモコンによっては同梱されていません。

注意 工事前のご注意

- 設置場所・設置時の注意

下記の場所には取り付けない。

 1. 温度の高くなる場所
 2. 直射日光のあたるところ
 3. 湯気のかかるところ
 4. 水しぶきのかかるところ
 5. 油のかかるところ
 6. 幼児の手の届くところ
 7. 浴室
 - ねじは必ず手回しのドライバーで締め、電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しない。強く締めすぎるとリモコンや固定金具が変形するおそれがあります。
 - A U X 端子（φ3.5外部入力端子）の抜き差しができるように下側には200mm程度の十分なスペースを設ける。
- リモコンコード（別売部品）の配線
 1. リモコンコードは1つのリモコンにつき長さ25m以内で使用する。25mを超えると、機器の作動不良の原因となります。
 2. リモコンコードは各社（ガス会社、OEM）指定品がある場合、必ず指定品を使用する。メーカー品のリモコンコードはFMY02-00を使用してください。
 3. リモコンコードを貫通させる壁面は、屋外側から上がり勾配で穴をあけ、コードを通した後は防水のためシールする。
 4. リモコンコードの皮をむき、樹脂スリーブ付Y型端子を取り付ける。（図1）

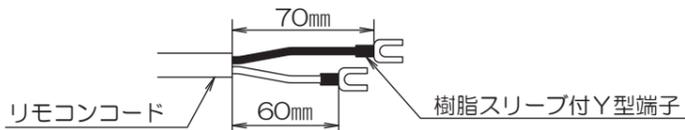


図1

注意 設置工事

- 取り付け上の注意について
 1. 工事の際は次の法、基準に従って設置する。「電気設備に関する技術基準」「電気工事士法」「内線規程」「電気用品安全法」「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会発行）」リモコンおよび、それに関連したリモコンコードの取り付け、接続は小勢力回路に該当しますので資格がなくても施工が可能です。
 2. リモコンコードは保護のため電線管もしくはCD管を用いて通線する。電線管の内径はφ18mm以上のものを使用してください。
 3. リモコンコードは他の製品のリモコンコードや他の電気製品の電源コードとの並走は行わない。機器が正常に作動しない場合があります。
 4. リモコンコードを中継してリモコンからリモコンへ配線しない。1つのリモコンに対し、1本（2心）のリモコンコードを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
 5. 壁面よりリモコンコードが十分な長さで引き出されていることを確認する。
 6. リモコンコードのY型端子は樹脂スリーブ付（付属品）を使用する。
 7. リモコン間の距離が近い場合、ハウリングを起こすことがあります。通話テストは浴室の扉を閉めた状態で行ってください。
 8. 常時電波を発生する機器の近くに設置しない。ミュージック機能時（AUX端子（φ3.5外部入力端子）使用時）、浴室・台所リモコンに雑音が生じる可能性があります。
 9. AUX端子（φ3.5外部入力端子）の抜き差しができるように下側には200mm程度のスペースを設ける。
 10. リモコンに金属くずなどが付着しないように、壁に取り付ける直前に袋から取り出す。リモコンに金属くずが付着すると音割れなどの原因になります。

■ 取り付け方法

1. 固定金具を壁に固定する。固定方法により、使用する部品が異なります。※締め過ぎに注意してください。ねじは必ず手回しのドライバーで締め、電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。締め付けすぎると金具が変形し不具合が発生するおそれがあります。※固定金具を壁に取り付けた後に、固定金具が壁から浮いていないことを確認してください。

《スイッチボックスへの固定の場合》

固定金具を長ねじ2本を使用してスイッチボックスに固定する。（図2）

- ※ねじは必ず付属のねじを使用してください。
- ※壁に穴を開けるとき、縦方向は95±5mmで開けてください。大きく開けすぎると取り付け時に固定金具が変形し不具合が発生するおそれがあります。

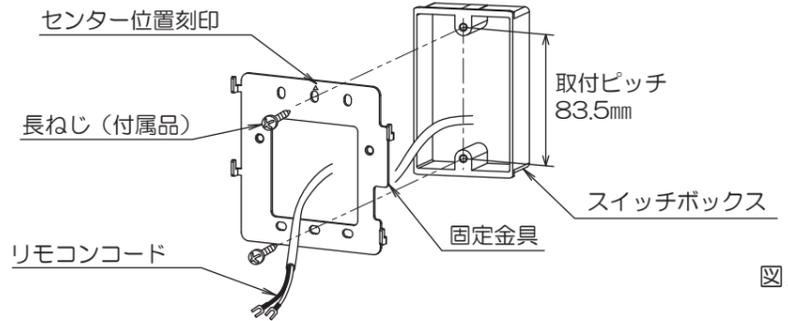


図2

《木質壁面への固定の場合》

固定金具を付属のタッピンねじ2本で壁に水平になるよう固定する。（図3）

- ※ねじは必ず付属のねじを使用してください。
- ※壁に穴を開けるとき、大きく開けすぎると取り付け時に固定金具が変形し不具合が発生するおそれがあります。
- ※石膏ボードに取り付けの際は、φ8の下穴をあけ、別売の樹脂カールプラグ（部品コード WP001：2個入）を必ずご使用ください。

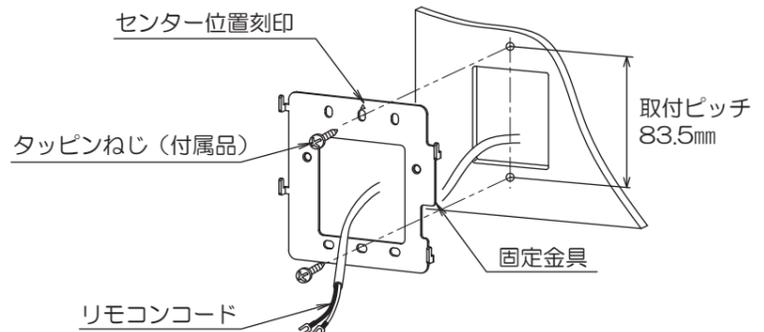


図3

2. リモコン裏面の端子台にリモコンコードのY型端子を接続する。（図4）

- ※Y型端子の取り付け方向に注意してください。
- ※締め過ぎに注意してください。ねじは必ず手回しのドライバーで締め、電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。リモコン端子台を破損するおそれがあります。
- ※リモコンの種類により端子台位置は異なる場合があります。

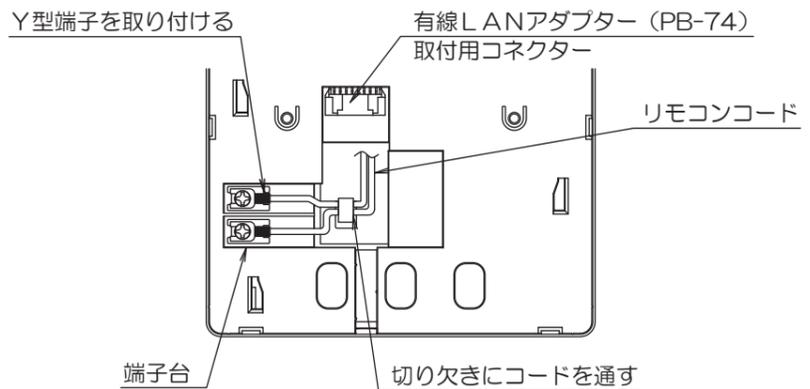


図4

※有線LANアダプター（PB-74）を取り付ける時は、有線LANアダプターの工事説明書に従って取り付けしてください。

※リモコンコード下出しの場合、先に化粧枠のコード取入口をペンチなどで開けてください。また、リモコンコードは切り欠きに通して引き出してください。（図5）

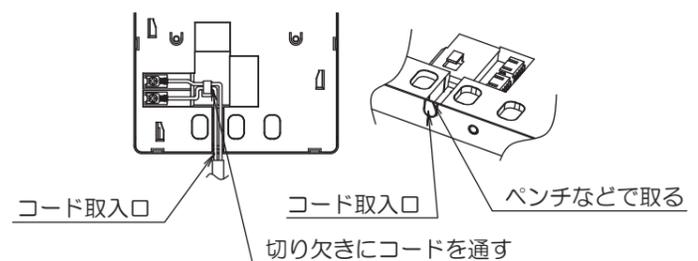


図5

3. リモコン本体を固定金具に固定する。固定金具のツメ（4か所）とリモコン本体の切り欠き（4か所）の位置を合わせてしっかりとリモコンを押し込んでください。（図6）※取り付けにくいときは、無理に金具に取り付けず、金具の取り付けからやり直してください。※リモコンコードを固定金具とリモコン本体で挟み込まないように注意して取り付けしてください。

4. リモコン本体を下方へスライドさせ、リモコンを取り付ける。（図7）

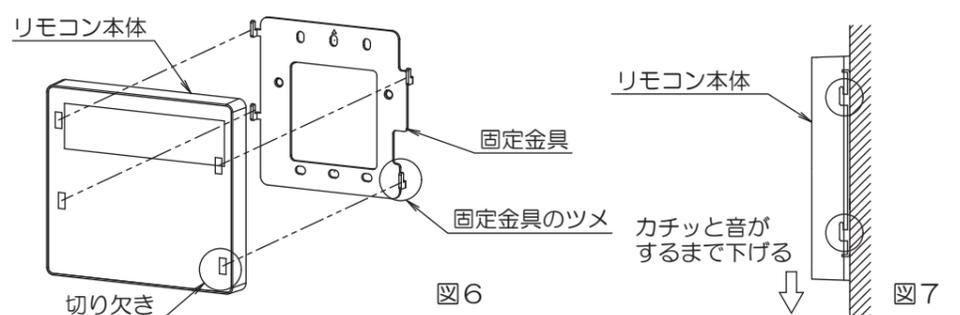


図7

5. リモコン本体が固定金具に確実に取り付けられていることを確認する。

機器本体とリモコンコードの接続方法につきましては、機器本体の設置工事説明書もお読みください。